

国際戦略調査研究委員会

韓国大邱広域市寿城区海外視察報告書

視察先：韓国大邱広域市寿城区

視察日：令和7年1月21日（火）から1月23日（木）

国際戦略調査研究委員会

委員長 新田 輝彦

副委員長 松村 正秀

委員 布田 拓也

委員 中村 慎作

委員 向江 英雄

委員 大和屋 貴彦

副議長 日根野谷 和人

委員 高橋 圭子

委員 大庭 聖一

大邱広域市寿城区視察日程

◎令和7年1月21日

1. 区長 表敬訪問及び意見交換会
2. 区議会 訪問及び意見交換会

◎令和7年1月22日

1. 寿城女性倶楽部 視察及び意見交換会
2. 寿城アートピア 及び 大邱市立美術館 視察
3. 未来教育館 視察

◎令和7年1月23日

1. リサイクリングものづくり 視察及び制作体験

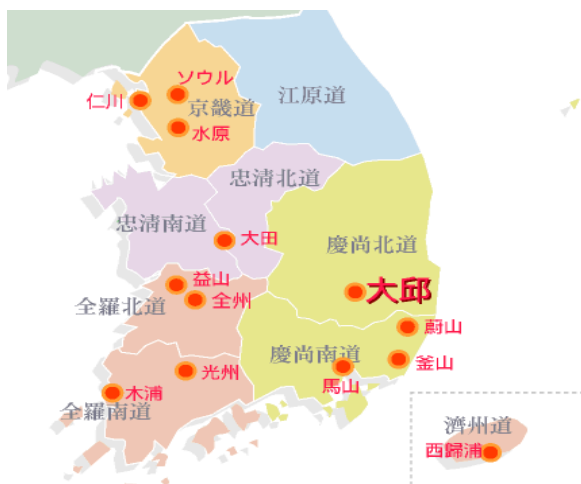
大邱広域市寿城区の概要

寿城区の人口は約 43 万人で、区の面積は 76.54k m²です。

韓国南部に位置し、ソウル・釜山に続く第3の都市「大邱」の中でも、寿城区は韓方や美容観光、グローバル教育が盛んなまちです。

ソウルから KTX（高速鉄道）で1時間40分の距離にあり、関西国際空港から大邱国際空港までの直行便もあり、大邱空港から寿城区内までも、車で20分～30分の距離でとてもアクセスしやすいです。

泉佐野市と寿城区は、2023年7月に友好提携を締結し、青少年の学生交流や野球・サッカーのスポーツ交流、イヌナキンとトゥビーのキャラクター交流等様々な分野で交流を深めています。



寿城区長：キム・テグオン

大邱市で部長や局長の職を歴任

2015年に寿城区副区長、

2017年に第17代寿城区長に就任し、現在2期目



第9代議長：チョ・ギュファ

寿城区議会第6, 7, 8, 9代議員

第8代後半期寿城区議会副議長 等



韓国大邱広域市寿城区調査研究報告書

国際戦略調査研究委員会委員長 新田輝彦

本市と寿城区は2023年7月に友好提携を締結しこれまででも様々な分野で交流を続けてきています。本年から設置された国際戦略調査研究委員会の最初の視察先として寿城区を決定し1月21日から23日の日程で訪問してきました。

関西空港から大邱国際空港まで1時間30分と関空から羽田への時間と大差なく、また大邱国際空港から寿城区まで車で20分から30分の距離ととてもアクセスしやすい都市で今後の交流も活発になると期待します。

韓国では1歳から15歳までの生活経験で自分の住みたい場所が決まるとのお話で寿城区15才までの子供達に文化と教育の取り組みを行っています。

大邱広域市では2000年サッカーワールドカップが開催されワールドカップ競技場も寿城区に立地しサッカーが盛んです。民間ベースでもサッカーを初め野球、アイスホッケー等のスポーツのリトルチームが多く存在しています。

産業ではSAMSUNG創業の地であり過去には繊維産業が盛んであった様ですが現在ではAI、IT産業に力を入れています。ソフトウェア特化した企業を誘致のための企業団地を作り家賃補助等の様々な優遇措置を行っています。その人材育成には地域の大学と連携や海外からの人材の確保にも積極的に取り組んでいます。

寿城区議会ほかの分野と同様に女性の進出が著しく議長はチョ・ギョファ氏で女性の方ですが75歳とはとても見えない活動的な方で親しく話をする事が出来ました。

寿城区は43万人の人口に対して議会議員は22名と大変少なく又2名から3名の小選挙区制を導入しているために競争の激しい選挙となる様です。寿城区議員さんからは「泉佐野市議会サイトで議員さんの顔を確認しようとしたが顔写真は掲載されていませんでした」と言われましたし頂いた名刺には必ず顔写真が掲載されていたのは選挙民に認知して頂く手段ととらえている表れと理解しました。又、議員の控室は本市のように会派控え室は無く委員会毎に部屋があり同じ施策を取り組む委員同士が任期の4年間一緒と合理的な取り組みでしょう。

韓国でも日本と同様に1期4年制ですが4期16年務められますと条例にはありませんが退任されると言い後進の育成にも積極的に取り組まれている日本でも見習う部分もあるのでは無いでしょうか。

韓国では女性の社会参加が活発と聞いていましたが女性政策の企画・総括、女性の権益増進などの地位向上、家族と多文化家族政策の樹立・調整・支援、健康家庭事業のための児童業務及び青少年の育成・福祉・保護に関する事務を遂行する国家行政機関である「女性家族部」があり寿城区ではより積極的に推進していて女性が活躍出来る環境を整えています。取り分け寿城大学と寿城区役所との条約により大学内のスペースを無償賃貸で借り受け特に「トゥビー工作所」では女性のローカルクリエイターを養成し女性の経済や社会参加を拡大しています。

寿城区では事業別に

- 1、女性友好都市推進能力事業、

- 2、女性にやさしい経済環境づくり事業、
- 3、女性にやさしい文化拡散事業、
- 4、女性にやさしいネットワーク支援事業、
- 5、寿城女性を新しくするセンター事業、
- 6、外部支援事業を中心に女性が活躍するための支援活動

を行っていますがこれこそが韓国の女性の社会参加が積極的に行われている原動力だと思います。

文化芸術に関しては文化ホールとして寿城アートピアがありますがガラス張りの素晴らしい外観でしたがホールの規模は本市の泉の森大ホールと同じような規模でした。その後には大邱市立美術館では世界的に活躍するエジプト出身の作家ワエル・シャキ氏の作品展を視察しましたが200万都市の大邱市の美術館ですから規模と言い展示内容と言い素晴らしい物だと感じましたがそれが寿城区に立地する事で文化面では恵まれています。

教育面では未来教育館があり韓国の子供たちが世界市民として今何をしなくては行けないか？を体験する世界市民国際機関体験館を視察しました。

世界と私たちはどのようにつながっているか？着ている服、食べている食物、持っている物はどこで生産されたものか？それを考え、共有し行動してください。気候危機で被害を受けている人がいます。沈む国土、食糧難で食べ物が満足に得られない人がいます。そのような人が多くいることを認識して行動しましょう。そのために持続可能な発展目標SDGsを実践しましょう。というプログラムの説明を受けましたが子供たちにこれほどのプログラムを実践している先進的な取り組みに驚きました。

寿城区は70%が山間部で残りの30%に住宅が集中していて1990年代からの高層マンションブームで市街地では高層マンションが正に林立し大阪市内でも見る事の出来ない程の風景でした。戸建て住宅はほとんど見かけませんでした。昨今では高層マンションが住居として好まれている様で古くなったマンションの老朽化に苦慮されていて古くなったマンションを改修しトゥラン芸術村と呼ばれるリサイクルリングものづくり施設の見学をしました。

ここではコーヒーかすをリサイクルし工芸グッズを製作しリサイクルへの啓もうに取り組んでいました。

女性の社会進出が著しい韓国ですが男性、女性共に仕事を持つと言うことは子育ての負担がどちらかに掛かってくると言う事になりますがそれが無理なら子供を持たないという選択になるのは仕方ないことなのでしょう。しかし出生率が世界一低いという結果になっている一因となっているのであれば問題です。通訳を介しての会話ですから真意を汲み取れたかは分かりませんがキム区長から「女性の社会進出は否定するものでもないが子供たちの小さな内は母親が出来る限り目を届かせることはとても大事な事」と話されたことが印象的でした。

また、キム区長からは「行政関係の交流も良いがこれからは民間同士の交流も活発に行っていきたい」との発言があり早速、寿城区から民間人がゴルフ観光に行った時のアテンドの約束もしましたしその後の温泉観光のアテンドも約束してきました。他にもコーラスグループの訪問も控えている様で民間サイドの交流が盛んになることを期待しますしそれに向けて我々市議会も努力していきます。

最後に寿城区で最も有名な観光地である「寿城池」は日本人が築造にかかわっています。岐阜県加納町（現岐阜市）の町長だった水崎林太郎氏（11868年 - 1939年）は、1914年に開拓農民として朝鮮へ渡っています。花栽培などで成功した後、干ばつと洪水によって荒れ未墾地が多かった現地のために土地改良組合長として貯水池を造ることを決め、朝鮮総統府の支援一万二千円（現在の十億円相当）と私財を投じ、十年の歳月をかけて築造工事を行い寿城池を築造しています。池の完成により荒野から美田に変わった土地は250万坪に及び寿城区の経済発展に大きな役割を果たしています。水崎林太郎氏のお墓は寿城池を見下ろす場所にあり、その後顕彰碑が立てられ毎年忌日には追悼式が執り行なわれています。

この様に日本と寿城区は古くから関係が深く我々にもすごく好意的に接して頂きました。これからも様々な分野で交流を図っていける事と思います。

国際戦略調査研究委員会
韓国大邱市広域市寿城区視察報告書

令和7年2月14日
公明党 松村 正秀

視察目的

2023年7月25日に大韓民国大邱広域市寿城区と友好都市提携を調印。その後も民間団体、高校生等と相互交流が行われている。今回、教育の満足度が高く質の高い教育環境や貴区（寿城区）が特に力を入れ推進する施策内容を学び、議員団との交流を行う事でお互いの絆を深めていく。

視察内容

＊区長表敬訪問

キム・テグオン区長をはじめ多くの職員の皆様から歓迎して頂き心から真心、誠意を感じた。区職員の60%が女性との事、女性が働きやすい環境が整っていると実感した。

＊区議会訪問

こちらでもチョ・ギョファ議長、多くの議員の皆様から歓迎して頂いた。区議会の紹介動画を視聴、議長から本市の市議会議員の選挙制度の質問や本市ホームページでの各議員のプロフィール写真の掲載を要望された。

＊寿城女性倶楽部

韓国国内で唯一の女性親和ハブ機関。大韓民国大統領表彰を2回受賞され（韓国初）女性の支援だけでなく、区民と共に地域の安心・安全を守る運動の展開や児童との教育プログラムを開催している。また、高齢者、障がい者の方へのサポート等も官民が一体となり実施している。

＊寿城アートピア

2007年5月オープン。現在まで1309公演、64万人動員。地域の皆様に生活の中で文化、芸術の息吹を感じてもらう為に活動している。様々な公演の鑑賞や芸術への理解を深める教育プログラムも実施している。また、お互いの合唱団との交流を予定されている。

＊大邱市美術館

大邱市における近・現代美術の歴史的価値を研究し、大邱美術の前衛性を知る素晴らしい展示をされている。

＊未来教育館

未来の教育体験や海外の児童との「世界模擬会議」開催等、教育で世界市民育成に力を注いでいます。

＊トゥルラン芸術村

1970年代に造成された地域の再開発にあたり、地域の皆様に文化・芸術を親しんでもらう街にする為、芸術家の皆さんの活動拠点の建設やコーヒー豆のカス等を活用したリサイクル（アップサイクル）工芸で障がい者の方々の就労支援等も行い、街づくりが行われています。

総括報告

キム・テグォン区長の施政方針は、教育・文化・芸術で愛される街づくりを行う趣旨の話がされた。住民の方が1～15歳の間に寿城区に住んで良かったと満足度が高ければ、その後、仕事等で寿城区を離れても、再び戻ってきってくれる確率が高く、少子化対策にもつながると。その他にも国の支援を活用しIT企業を誘致し、人材は地元大学と連携し採用していく。そして、これからも泉佐野市との交流を特に青年を中心に継続して行きたいと述べられました。

どの視察先に伺っても寿城区の皆様の誠実で誠意あふれる行動に感動し、関係各位の皆様に深く感謝申し上げたい。今回の視察で実際にお会いする事でお互いを知る大きな第一歩になりました。今後も交流を継続し、お互いの街の発展につなげてまいりたい。

2023年7月に友好提携都市となった韓国大邱広域市寿城区へ視察。

1月21日（火）

◆キム・テグオン区長表敬訪問

この時の訪問と2日目の交流会を通じて、キム区長が「文化で区民を幸せにする」とおっしゃっていたことに感銘を受けました。

具体的には茶道と瞑想の施設の設置やスポーツ、アートなどを政策として実施していました。

泉佐野市では文化にどれだけ取り組んでいるだろうかと振り返ると、財政難の時代を経て真っ先にカットしてきてしまった所ではないかと思います。ただ、キム区長が千利休を尊敬していると言われており、私たちが大切にしなければいけないものがあるということを、気付かせていただきました。

また、私たち視察団に対し、手厚いおもてなしをくださり、大変恐縮すると共に、友好都市に対するおもてなしの心というものを学ばせていただきました。スポーツについては、韓国の子供は勉強しすぎているので、趣味としてのスポーツに力を入れているとのことでした。日本の子供も同じかもしれませんが、スポーツでバランスを取ろうと政策を推進している点に、政治の柔軟性の高さを感じました。

◆区議会訪問

議長を始め、多くの議員さんにお迎えをいただき、交流の機会をいただきました。大統領が逮捕されるという非常事態でしたが、両党の方がいるにも関わらず、国は国、地方は地方と一体となってお迎えくださりました。そこに反日感情など一切なく、日本にいた時、韓国に対して少し偏った見方をしてしまっていたことに反省しました。この交流がなければ、国際的な交流に対し非常に視野の狭いまま生きていたと感じます。

議会の機能は日本と少し違い、4つの常任委員会に所属すると、その所管を専門に活動している仕組みでした。最も印象的だったのは議会事務局の職員数で、37名もいるとのことで、事務局長、専門委員、議政チーム、議事チームがあるそうです。議会の機能や権能が日本とは大きく違うと感じた点です。

◆寿城女性倶楽部

女性倶楽部の役員の方々がご説明をしてくださりました。議会でも女性が多かったですが、女性の社会参加が拡大されていることが印象的でした。

トゥビー工作所では、女性のローカルクリエイターを育成しており、地元のキャラクターであるトゥビーのグッズを数々制作されており、素晴らしい取り組みだと感じました。

◆寿城アートピア

ここでは非常に大きな美術館を見学しました。現代アートも企画展示されており、アートの感性を育成することやアーティストの育成にこれだけの予算をかけられる所に、文化的な行政レベルの高さを感じました。

◆未来教育館

子供達が人口知能やロボットなどを体験できる施設で、タブレットで操作するサッカーゲームの体験やプログラミングされたロボットのダンスを見せていただきました。

◆トゥルラン芸術村（リサイクルものづくり）

珈琲の使用後の粉を使った磁石づくりを体験させていただきました。リサイクルとアートを推進できる取り組みとして、参考になりました。

【総括】

○文化や心を大切にしてきた国民性から、日本が失ってきたものを感じさせられ、日本の将来を不安に感じました。

○おもてなしがあまりに凄く、泉佐野に来られた時の市の対応や議会の対応について、見習わなければならないということを感じました。

○日韓関係について、日本にいとメディアも SNS も政治的な情報が多くなり、偏りがちですが、国レベルの政治とは切り離すことの必要性や、実際に交流することの大切さを学ばせていただきました。

大邱広域市寿城区視察報告書

国際戦略調査研究委員会委員 中村 慎作

27年ぶりの海外視察を重要な任務と認識し、発足した国際戦略調査委員会の一員として、「市民の生活向上と経済的繁栄」を目的とする。

①視察の目的

両地区の発展に向け共通ビジョン・価値観を調査。過去の歴史認識を超えた未来志向の平和交流テーマの研究と共に、寿城区の歴史・文化・芸術への理解を深める又行政運営や都市開発、地域活性化、国際交流等の知見や協力可能な分野を探り、特に子供達の教育プログラムも調査。

②視察先

寿城区庁舎→寿城区議会→寿城池→寿城女性倶楽部（寿城大学）→寿城アートピア→大邱市立美術館→未来教育館→トゥルラン芸術村

③視察感想

区庁舎と区議会を訪問、温かい歓迎と交流を通じ、本市との持続的な友好関係の重要性を実感した。寿城女性倶楽部では、子育てからキャリア支援までの支援体制を整備。学び、交流し、社会参画する場を提供し、女性のコミュニティ形成や社会的役割拡大を実現。本市の女性や子育て世代の職業訓練支援プログラムの参考となった。又キャラクター商品製作を訓練に組み込んだクリエイター創出を要望する。寿城区は寿城池周辺開発や寿城アートピア、大邱市立美術館、トゥルラン芸術村等の施設を通じ、観光交流として活用。多様な公演・展示と市民参加型の仕組みが地域活性化に貢献。本市も市内外の伝統文化や芸術家との連携を深め、観光交流と文化水準の向上につなげたい。未来教育館では先端教育プログラムを通じ子供達の科学技術への関心を高め、企業や大学又グローバル連携を通し育成を行う。本市でもこの様な連携を強化し、次世代人材の育成と地域産業の発展につなげたい。

④目的に対しての成果

寿城区長をはじめ職員の皆様と「東アジアの平和的发展と子供達の為に連携し、互いに発展する」価値観で一致。議員の方々とも「今後の交流でビジョンや価値観を共有する」連携関係を深めた。これらを議会と各議員で継承する。

⑤連携について

視察を総括すると、全施設でビジョンや理念（SDGs等）が明確で、その成果を目的とした事業がプログラムとしてマネジメントされていた。これらはデザインにも反映され、ブランディングやグローバル交流、誘致にも効果的につながる。今後の連携によって学ぶべき点は、定常業務とプロジェクト業務のマネジメント体制であり、人材育成やスピード感にもつながると仮説する。その為マネジメントシステムの知見を得る事を目的とした職員交流も本市に要望したい。今回訪問は無いが、注目すべき産業に国際空港に隣接する寿城アルファシティーがある。約200社のIT等、知的集約型産業が集中し、4大学と7人工知能研究センター等を誘致。国家デジタル革新地区として2031年までに1000社・2万人の集積を目指している。子供達や若者のグローバル教育の為にも、更にこの分野での連携も深めるべきと考える。その他今回得た知見を今後の政策提案に活かしていく。

泉佐野市議会 国際戦略調査研究委員会
大韓民国大邱広域市寿城区 主要施設視察報告

向江 英雄

寿城アートピアは、2007 年 5 月に竣工した、大邱を代表するアートセンターであり、公演・展示・芸術アカデミーの分野で専門空間を保有し、ユニークな外観と内装が特徴です。

アートピアは建物がある舞鶴山のイメージを生かし、前面から見ると鶴が翼を広げ飛び立とうとする模様、側面からは以前現在の場所には大きな池があったことから船の形をしています。

客席後方から舞台までの距離が 21 メートルもある超大型劇場であり、オペラ、ミュージカル、バレエ、演劇、舞踊、音楽会、コンサートなど様々なジャンルの公演を自由に演出する事が可能なアートセンターです。

未来教育館は、2002 年開催の FIFA ワールドカップ会場として整備されたスタジアムを含む公園内の施設を活用、体験学習や問題解決学習の重視、学校・家庭・地域の連携を掲げています。

地域の特色を活かした授業やボランティア活動、自然体験活動、社会体験活動、国際理解・英会話学習など工夫を凝らした授業を展開しています。

総合的な学習の時間を通して、「生きる力」の育成を目指しています。

寿城池遊園地は、凡勿洞の龍池峰（629 メートル）から北西部に伸びる峰の麓にあり、周辺の緩やかな山地と寿城池が美しい風景を織り成しています。

寿城遊園地は 1925 年に造成された寿城池を中心として形成されており、池の周囲は 2,020 メートルほどになります。

寿城池は 1925 年日本統治下に農業用水の供給用として造成された人工池で、現在は水辺の憩いの場として活用されており、年中豊富な水量を誇ります。

映像音楽噴水が 2007 年 9 月に設置され、5 月～10 月には噴水ショーが行われています。

第 1 日

1. 概要

(0) 自治体概要

大韓民国 大邱広域市 寿城区は、大韓民国南部に位置し、76.54km の面積、約 43 万人の人口を有し、ソウル・釜山に継ぐ第 3 の都市「大邱」の中でも、韓方や美容観光、グローバル教育が盛んな自治体です。

泉佐野市とは、令和 5 年 7 月 25 日に友好提携を締結し、青少年の学生交流や野球・サッカーのスポーツ交流、泉佐野市の公式イメージキャラクターイヌナキンと寿城区の公式イメージキャラクターのトゥビーとのキャラクター交流等様々な分野で交流を深めています。

(1) 区表敬訪問・意見交換会

寿城区庁長 キム・デグォン氏はじめ文化・教育行政を担当する局長等がお出迎えいただき、主にキム区庁長と意見交換をさせていただきました。

キム区庁長は、大邱市で部長や局長の職を歴任され、平成 27 (2015) 年に寿城区庁副区庁長、平成 29 (2017) 年に第 17 代寿城区庁長に就任し、現在 2 期目を務められています。

今まで町会・青少年団体等の視察を受け入れてきましたが、議会からの視察は初めてのことで、大いに歓迎いただきました。次年度は、泉佐野市の職員を 6 ヶ月間研修職員として預かる取組も始動させるというお話を伺い、産学官民のさらなる連携深化を推進されるとのことでした。

我々視察団からの質問に対して、Samsung (サムスン) が創業した地としてその繊維部門による繊維工業が発展していた時期もあったことや、数種類のお茶を商品化して広めていく事業展開を行っていたり、子育て・教育の観点から 0~15 歳の子ども達が過ごした環境によって住居地を選択する可能性に着目した支援策の充実化に特に力を入れているというご回答をいただきました。

寿城区には素晴らしい塾や英才教育を施す特殊学校等が存在するが、学校に通えない子ども達にも配慮した教育環境の整備に力を入れる中で、文化的側面を取り入れた教育の導入を心がけているとのことでした。寿城区としては、子ども達の未来をつくるため、特に文化と教育に力を入れているということを力説いただきました。

(2) 区議会表敬訪問・意見交換会

寿城区議会は、平成 3 (1991) 年 4 月 15 日に開会し、単院制 (一院制) の多党制で、議員数が 22 議席となっています。議員任期は 4 年 (議長、副議長は無記名の投票選挙で、任期は 2 年)、組織は、議長・副議長・4 つの常任委員会 (運営委員会、行政企画委員会、文化福祉委員会、都市環境保健委員会)・特別委員会 (必要な際) で構成されています。議会事務局体制は事務局長はじめ、専門委員、議政チーム、議事チームの合計 37 名で組織されています。

当日は、寿城区議会 議長 チョ・ギュファ氏はじめ定数 22 名の内半数以上の議員の方々が玄関前で熱烈に歓迎してくださいました。意見交換会の中では、大邱 (寿城区居住者優先) の大卒の若い人材 2 名が関西国際空港のグランドス

タッフと免税店スタッフとして研修中である話や、選挙区制度の違いに関する話、2002 年日韓ワールドカップの話で盛り上がりました。特に驚いたのは議会の PR 動画をご披露いただいたことでした。非常にクオリティの高い動画で区民にメッセージを発信する姿勢に感銘を受けました。

意見交換会終了後、委員会室や議場の視察を通して、それぞれの機能や慣習についてそれぞれの議員からご説明をいただきながら、韓国文化と日本文化に関する情報交換を行うことができました。

2.所感

最初から最後まで大歓迎の手厚い待遇でおもてなしをいただいた、というのが第一の印象です。関西国際空港からの直行便のティーウェイ航空（t' way）で、約 90 分間で到着できる隣町という感覚も非常に印象的でした。

大邱国際空港に到着するや否や、寿城区役所の職員さん達が「(日) 泉佐野市議会海外視察団様、寿城区へご訪問を大歓迎致します！」と書かれた大きな横断幕でお出迎えしてくださるばかりか、区役所の入口、区長の応接室、区議会の入口・応接室、そしてエントランスホールのデジタルサイネージ、さらには夜の懇親会場のお部屋でも、大歓迎を前端的に表現してくださっていました。

上述したキム区庁長の文化と教育に力点を置いたヴィジョンにはじまり、それぞれの議員の考え方から、地方と国の政治的スタンスの大きな相違点等、メディアを通して見る韓国のイメージとは大きく違っていて、どちらかというと非常に親近感を覚えるばかりか、日本から日本へ来たような錯覚にも陥るくらい、非常に温厚で、勤勉な民族性であると認識いたしました。

グローバル化と IT 化がさらなる進化を遂げる時代の流れの中、こうして実際に足を運んでみて、語ってみて、触れてみて、何を感じ取り、何を考えるか、という視点に立って、考えることの重要性を再認識させていただく国外視察となりました。

第 2 日

1.概要

(3)寿城池（スソンモッ）・寿城池観光案内所・飛行機カフェ 視察

寿城池（スソンモッ）は、元々農業用水を供給するために造られた人工池でしたが、今は自然に優しい湖水公園として大邱（テグ）を代表するランドマークになっていて、韓国観光公社の「韓国観光 100 選」と「夜間観光 100 選」にも選ばれています。地域内外の方々に日々賑わう憩いの場所となっています。

観光案内所には、寿城区イメージキャラクター「DDUBI（トゥビー）」のオリジナルグッズや寿城区の伝統工芸品等が販売されており、1 名のスタッフが配置されていました。

池の奥の方に飛行機が見えたので、そこも視察させていただきたいと要望させていただき、視察することにしました。そこは、かつてカフェとして活用されていたそうですが、経営状況が厳しくなり、現在は機内を 5 分割した貸しスペースとして活用されているとのことでした。

(4)寿城女性クラブとの面談・トゥビー工作所 視察

韓国政府が推進する女性親和都市として、国内226自治体中104自治体が指定され、寿城区はそのハブ機関としての役割を果たしています。そもそも、女性親和都市とは、女性と男性、高齢者、青少年の老若男女が平等に社会参画できるようなケアシステムが整った都市のことを言い、5年ごとに更新が図られます。

寿城女性クラブは、国内唯一の女性親和ハブ機関として、大韓民国大統領賞を2回受賞する等多くの受賞経歴を有し、他の自治体からもベンチマーキングで訪問に来ることも多い社会的信頼性の高い団体で、寿城区との協定締結により、寿城大学内に無償で拠点を構え、女性親和都市制度の推進に向けた次の6つの事業展開を行われています。団体説明後、寿城大学内の寿城女性クラブが活動している工作所や工作物、交流スペース等を視察させていただきました。

①市民参加型で、区民の幸福増進を図る事業として、危険な夜道のLED電灯増加や警察との連携による安全対策の構築を図る「女性親和都市力量評価事業」、②女性のローカルクリエイターを養成する工芸教育を行い、寿城区のイメージキャラクター「DDUBI（トゥビー）」グッズを製作（2023年度始動・トゥビー工作所）し、それらを販売するとともに地域社会の活性化を図る目的のフリーマーケットイベントを主催する「女性親和経済環境創生事業」、③性平等コンテンツ制作教室やESG（Environment Social Governance）コンテンツ制作教室の実施により女性親和価値を拡散する「女性に優しい文化拡散事業」、④官民連携による地域に根差した女性親和事業の発掘とジェンダーに配慮したガバナンス推進を図る「ネットワーク支援事業」、⑤女性親和企業との積極的な協定締結とともに、出産・子育てからの社会復帰を支援する国家的事業としてスポットで終わらないマンツーマン且つワンストップ型の持続的な就労・創業支援や職業技能の向上を図る職業訓練を行う「女性のためのハローワーク事業」、⑥地域産業にカスタマイズされた雇用創出事業として社会福祉共同募金や生涯学習教育機関への支援等を行う「外部支援事業」を展開しています。

(5)寿城アートピア 視察

寿城区を代表するアートセンターでそのユニークな外観が特徴的で、展示、芸術、アカデミーの3つの部門が運営されています。オペラや演劇、舞踊、音楽会など様々なジャンルの公演を鑑賞することができ、また、芸術への理解をサポートするための教育プログラムも運営されています。

当日は地域の小学生達が合唱の練習を行っている風景や別棟のレゴブロックで交流する施設で親子が交流する風景を視察させていただきました。

(6)大邱市立美術館 視察

大邱広域市が支援する市立美術館で、国内外の作品の展示だけでなく、さまざまな講演会やシンポジウムなどのプログラムを企画・開催していて、豊かな文化のある生活を楽しむことができる美術館となっています。

大邱における近現代美術の歴史的価値を研究し、その研究結果にスポットライトを当て、大邱美術の前衛性を知ってもらうための展示や、国内外の交流を通じて同時代の社会的・芸術的 이슈、世界におけるアートの最前線を

紹介する展示を企画・開催しています。

当日は、世界的に活動の場を広げているエジプト・アレキサンドリア出身の作家 ワエル・シャウキー氏(Wael Shawky、1971~)の韓国内における初の公立美術館での個展「海外交流展」、第24回 イ・インソン(李仁星)美術賞の受賞者となったクォン・オボン氏(權五峯、KWON O Bong、1954~)の個展「第24回 イ・インソン美術賞 受賞者展」が行われており、それぞれの独特の世界観と技法が広大な空間でとてつもない存在感を放っていました。大邱広域市出身作家の過去の作品が時系列に展示されていたり、現代アーティストの感性と技術を美術館の構造に活かしたり、様々な工夫が凝らされた巨大で、汎用性のある美術館だと思いました。

(7)未来教育館 視察

特化型教育プログラムの運営や体験を提供している施設で、1階が部屋全体に映像を投影した映像によるリアリティあふれるダイナミックな映像教育を提供する空間、2階がプログラミング教育を提供する空間、3階が「地球市民教育(Global Citizen Education)」を提供する空間となっていました。

1階では、プロジェクションマッピングされた映像を拝見した後、寿城区の子ども達がタブレットによる遠隔操作ができるロボットによるサッカーゲームをしている様子を視察させていただき、実際に私たちも体験させていただきました。2階では、世界的に有名な楽曲「APT.」に合わせて犬型のロボットがダンスを行うパフォーマンスを視察させていただきました。3階では、SDGsの観点でイラストを用いて「地球市民教育」をどのようにわかりやすく子ども達に伝える努力をしているか、というご説明を拝聴させていただきました。

2.所感

寿城池(スソソモッ)周辺に設置された本物の飛行機を活用したカフェは、以前から泉佐野市に導入できないか調査・提言を行っていた事例なので、大いに関心を抱きました。以前、そのような実現性について調査を行っていたところ、愛知県の中部国際空港「セントレア」にボーイング機が寄贈されたタイミングに議会の委員会で視察を行いました。その後、機体を覆う施設が建設され、その内部の機体周辺にカフェ、レストラン、ショップ等が整備された「フライト・オブ・ドリームズ」がオープンしました。私が考えていた機体自体をカフェやレストラン、ショッピングモールとして活用する案がまさに、寿城区で実現されていましたが、それを持続するのが難しかったという実情を知る機会になりました。しかし、泉佐野市のりんくうタウンでは成功するという確信のもと、夢は諦めず追い求めてまいりたいと思いました。

韓国政府がめざす女性親和都市やそれを具現化するハブ機関としての寿城女性クラブ様の活動実績を拝聴し、市民参加型の女性目線のまちづくりや女性のスキルアップを図る支援体制、それらを活かす場づくりが、有機的・理論的に結びつき、安全安心で活力溢れる自治体形成に貢献しているのを実感しました。女性目線での気づき、提案が、子ども達をはじめ高齢者に至るまで、きめ細かな支援策を構築する可能性が高い、という考え方について学ばせていただきました。

寿城アートピア、大邱市立美術館を視察し、それぞれの施設内に張り巡らされた細かい芸術的なこだわり、利便性を追求したこだわり、それらが共存できるようなデザイン性が、行きたくなる、居たくなる空間づくりを実現しているように思えました。演者が温かい木造空間で奥行きを活用したパフォーマンスを演じることができる空間づくりが施された公民館的・文化会館的な寿城アートピア、作家の作品をダイナミックな空間で、様々な演出で展示できる柔軟性と多様性を兼ね備えた大邱市立美術館、それぞれが表現の自由を最大限発揮できる施設であるからこそ、文化都市としての発展・繁栄の礎が築き上げられていくのだと思いました。

未来教育館は、タブレット端末や映像を活用したコンテンツ、プログラミングを活用したコンテンツ、SDGs に基づいた価値観を共有するコンテンツがそれぞれの階層で整えられ、子ども達と保護者達が未来にワクワクしながら、共に学び合える、新たな時代の教育を学校外で提供できる施設となっていると思いました。学校ではない第三の場所での教育機会が求められる昨今、こうした教育施設は注目を集めていくと思いました。周辺には2002年のFIFAワールドカップで賑わった大邱スタジアムと広大な公園用地があるので、施設内で学びながら、外ではのびのびと遊ぶことができる素晴らしい立地にあることも魅力の一つです。

第3日

1.概要

(8)トゥルラン芸術村 視察

韓国においては、住宅トレンドのマンションへの移行、急激な少子高齢化等で空き家問題が顕在化しつつあり、寿城区は、空き家の買収とリノベーションを推進し、文化的な施設としての活用を推進しています。

都市再生の観点から、著名で専門的な建築家を統括ディレクターとして配置し、リノベーション施設自体が作品的な建築物になるよう推進しながら、利用する地域住民からの声も反映させるよう心がけているそうです。ここ数年で7ヶ所の整備に約230億円拠出する程の力の入れようとなっています。

具体的には、作家や大学生などの青年を対象とした展示、教育、コミュニティ活動等の機能を有するような施設リノベーションが展開されており、そこでつくられたモノを販売できるマーケットイベントも積極的に開催されているそうです。

その一つであるトゥルラン芸術村は、夢ある芸術の場、として住民が自由に文化・芸術を経験することができる空間となっており、施設内ではリサイクル工芸グッズ製作体験ができる施設となっています。

4階建ての建物をリノベーションした施設となっており、1階がエントランス兼カフェ、2階が子ども達をはじめとする保護者や地域住民が自由に交流できるフリースペース、3階が障害者の方々がペットボトルの蓋等を活用したりリサイクルグッズの製作所、4階はリサイクル工芸グッズの製作体験ができたりする多目的な交流スペースとなっています。小学校前の立地を活かして、通年で子ども達を対象としたイベントが開催されているそうです。

当日は、コーヒーかすを活用したリサイクル工芸体験に参加させていただきました。コーヒーかすの単純焼却処理が二酸化炭素の3～4倍の温室効果をもたらすことを踏まえて、エコ村（ジサン）という団体が2022年から大邱市内のカフェ等からの回収作業に着手していたそうで、それを活用したマグネットグッズに色付けを行う体験をさせていただきました。

2.所感

韓国も日本同様に空き家問題を抱え、その対策に注力している現状を共有する中に、文化と芸術活かした都市再生で地域コミュニティの再生や子育て、教育への支援策を両立しようとする姿勢に多いに共感できました。特に、専門的な建築家を統括ディレクターに配置して、現在社会に求められるカタチを追求するばかりか、地域住民の声も反映させるリノベーション事業を展開されている事がとても参考になりました。

私たちが視察したトゥルラン芸術村は、小学校前の立地ということもあり子育て世代の方々をターゲットとしたカフェの設置やオシャレな作り込みがされているばかりか、あらゆる世代、立場の方々がごちゃまぜに交流できる仕掛け作りがされている点で、兼ねてから調査・研究してきた石川県輪島市で取り組まれている日本版 CCRC (Continuing Care Retirement Community)に通じるものがありました。

普段何気なく口にしてしているコーヒーのかすを SDGs の観点で日常的に使用できるグッズにリサイクルするという発想も素晴らしいと思いましたが、久しぶりに絵の具（アクリル性）を筆で塗る、という小・中学生の頃を思い出す体験に無我夢中になっている自分を実感しました。おそらく、そのような体験が保護者の心を掴み、子ども達も訪れるきっかけになっているのだと思いました。

こうしたリノベーションまちづくりの推進を通じた新たな価値創造と課題解決を両立する事例が、国内はおろか国外でもトレンドとなりつつある状況を目の当たりにし、泉佐野市内でもさらなるブラッシュアップを心がけながら促進する必要性を確信いたしました。

体験後に、泉佐野市の公式イメージキャラクターのイヌナキンが寿城区に訪れた時の動画を拝見させていただきましたが、日本語が上手で、動画出演が上手な職員さんがイヌナキンと交流しながら、寿城区の魅力を伝える取組も素晴らしいと思いました。そのような人材配置を行い、堅苦しくなく、フランクに国外の友好都市を対象としたPRを行う細やかな対応にも脱帽でした。「美活」で世界に名を馳せつつある大邱市、そして寿城区の実績はこうした地道で細やかな取組が功を奏しているのだと実感しました。

総括

日本国内は、少子高齢、人口減少であらゆるマーケットの縮小化が予測された閉塞感漂う状況の中、今後益々人口増加とマーケットの拡大化が予測されている世界に目を向ければ、様々な活路が見出されてくることは言わずもがなです。数年前に泉佐野市内に本社を構えてくださっている不二製油株式会社の社長からお話を拝聴した際に抱いたこの期待感を再び思い出すことができました。日本よりも少子高齢化速度が高いと言われている韓国の中の自治体の区が海外に活路を見出し、交流・観光を通じた経済振興策を実践しているという事例は国際都市としてさらなる飛躍をめざす泉佐野市にとって素晴らしいお手本となり得たのではないかと思います。おもてなしの精神も日本以上に細やかで大胆なところも大切な気づきとなりました。

平成 28 年度から、泉佐野市議会として国外への視察を通して、世界の中で国内の現状を俯瞰する必要性を訴え、まずは議会内の会派での国外視察の道を開くことができました。その機運は、3 年後の令和元年度に泉佐野市が第 5 次総合計画で掲げた目標である「世界に羽ばたく国際都市 泉佐野」に後押しを受け、他の議員からも国外視察の必要性の声が上がり始め、この度、「国際戦略調査研究委員会」の発足とともに、泉佐野市議会としての公式の国外視察が実現するに至りました。

今、日本国内はかつての栄華、バブルの亡霊に取り憑かれた“ゆでガエル”状態だと思っています。つまり、自らの位置関係を見失い、現状に甘んじている状況と言えます。人間も同じで自らを客観視する視点がなければ、さらなる成長は見込めません。現実世界でも同様に、自国や自らが携わる自治体を国内外から客観視することで、課題抽出と解決策が見出されるからこそ客観的視点を得る視察は重要だと考えています。

この度、泉佐野市は議会としての国外への途を開いたことで、世界における泉佐野市の位置付けがどのようなものか客観視する視点を持った上で、行政と議会が両輪となって、さらなる成長・発展に向けた動きを加速化させることが可能となりました。

追い風の如く関西国際空港がさらなる成長路線を確保し始めていること、大阪・関西万博の開幕を通して日本の伝統文化に世界的注目が集まる可能性があることから、その加速度的な可能性は無限大です。このタイミングにおいて、議会としての国外視察を実現できたこと、そして友好都市である大邱市寿城区の様々な先進的事例を学ばせていただけたことは、泉佐野市議会、泉佐野市、これからの日本国内における自治体の未来にとって非常に意義があったと確信しています。

この度の大邱広域市寿城区の文化と教育の振興を中心とした施政方針を参考にしながら、引き続き、泉佐野市内の課題、日本国内の課題を調査・研究しながら、国外にも目を向けた大局的な視点で、未来につながる持続可能な自治体経営の実現に向けて、努力、精進してまいりますとともに、泉佐野市が各方面と手を携えるアジアの架け橋として、温故知新の精神で、未来を共創できる自治体となるよう邁進してまいります。

今年度の国際戦略調査研究委員会の視察先である韓国大邱広域市寿城区は本市と10番目に友好都市締結し、本市から直線距離でわずか63.2キロメートルと近距離に位置しており、近代的な都市として現在も発展を続けている。人口規模も本市の4倍以上で高層マンションが立ち並び、インフラ整備も大変進んでいる。今回の視察目的は市議会としてまずは交流を図り、寿城区との友好関係を深め、それと同時に行政運営における先進的な取り組みを視察させて頂き、今後の本市の事業展開の参考となる調査研究を行うことであった。市議会からの初めての訪問にあたり、区長と区議会を表敬訪問した時に我々に対する歓迎の心配りが想像をはるかに超えるレベルであったことに感激し、本市ではどのような歓迎を実施しているのか疑問に思った。

その後訪問した全ての施設においても同様に手厚い歓迎を受け、その中心となっておもてなしをして下さった方々が女性の皆さんであり、寿城区における女性活躍社会の実現がまさに達成されていると強く感じた。

2日目訪問した寿城区女性倶楽部は女性の社会進出のサポートを中心にテーマ別に6つの事業を実施しており、大統領賞を2度も受賞された機関である。本市でも過去に女性起業家応援事業を展開していたが、常設の施設を大学内に設置し、継続した女性のための社会参加と経済支援を行っている当該倶楽部は寿城区における女性活躍社会の実現に重要な役割を果たしている。その後訪問した施設はキム区長が女性の社会参画と同様に大きく光を当てている教育分野で、日本同様に少子化が加速している中、将来を担う子どもたちに今後の教育に欠かせない人工知能やロボットなどの未来型教育プログラムを駆使した体験施設である。子どもたちが興味をもって楽しく学べるこの未来教育館は次世代の子どもたちを育成していくための将来への投資と言った施設であると強く感じた。

3日目に訪問した先は古いマンションをリノベーションしたトゥルラン芸術村と呼ばれるリサイクルと芸術性を融合した体験施設である。この施設は使用済みのコーヒー豆を活用して飾り物やマグネット式小物を大人か子どもまでが楽しみながら政策体験できる施設である。写真や動画を使って事業説明を受けたが、その中に本市との交流をさらに進めていくPR動画があり、民間レベルの交流を図りながらお互い行き来しあえる関係の構築をさらに進めようとする思いが伝わってきた。他にも教育分野の中における文化・芸術を街づくりのひとつのジャンルと位置づけた美術館やコンサートホールなども視察させて頂いたが、本市とは別の感性をもって行政運営を行っていることに大変感銘を受けた。

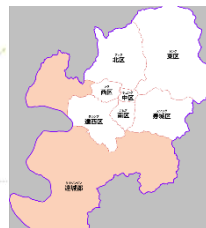
第1回目の国際戦略調査研究委員会視察先は歴史的背景から韓国を心配する意見も出ましたが地方自治体レベルや民間レベルではわだかまりも無く、お互いを尊重しあい、良い友好関係を築けたのではないかと考えます。今後もさらに多くの市民の皆さんが双方訪問しあい、特に若いひとたちにグローバルな目を持った未来の泉佐野市を担ってもらえる人材を育成するためにも引き続き当委員会で調査研究を行って頂けるよう期待致します。

国際戦略調査研究委員会 韓国大邱広域市寿城区 海外視察 報告書

視察日：2025 年 7 月 21 日(火)・22 日(水)・23 日(木)

寿城区について 寿城区（スソク）は、大韓民国大邱(テグ)広域市の区であり、東側で

慶山市、西側で中区と南区、南側で達城郡、北側で東区と隣接しています。人口は、約 43 万人で面積は、76.54 ㎡です。泉佐野市は、人口約 10 万人で面積は、56.51 ㎡です。80 階を優に超えるマンションやビルが多くあり、地震の少ない国ならではの街並みから、人口密度の高さが伺えました。関西国際空港から大邱国際までの直行便があり、所要時間は 1 時間 30 分で寿城区までは、車で 30 分ほどの距離です。本市の友好提携都市でもあり、2023 年 7 月 25 日に、泉佐野市で友好都市提携調印式を行ないました。



大邱市位置図

寿城区位置図

2023 年調印式様子

寿城区街並み

1 月 21 日 (火)

区長表敬訪問 2017 年に第 17 代寿城区長に就任され、現在 2 期目のキム・テグン区長を

表敬訪問しました。人口減少の中、教育・スポーツ・医療・文化芸術振興に取り組み、人工の増加を図られているとのことでした。また、先日、寿城区にて開催された世界建築ビエンナーレにおいて、寿城池の橋デザインが、日本人で世界的建築家の石上純也氏に決定したことや自治会連合会の皆さんが寿城区を訪問された時の様子もご紹介くださいました。その後、新田委員長よりご挨拶し、記念品の交換と記念撮影を行ないました。

庁舎内は、寿城区の公式キャラクターであるヒキガエルのトゥビーが、多く使用されていて、入り口には売店もあり、庁内も視察できればと思いました。



寿城区役所

キム・テグン区長

記念撮影(庁舎前)

庁内の売店

区議会訪問 1991年に開会の寿城区議会は、議員数は22名、任期は日本と同じく4年で、

無記名の投票選挙にて選出の議長、副議長の下、運営委員会、行政企画委員会、文化福祉委員会、都市環境保健委員会の4つの常任委員会で構成、必要に応じて本会議の議決として特別委員会を設けられています。22名中、9名が女性議員で、議会事務局は、事務局長、専門委員、議政チーム、議事チームがあり、総勢37名とのことです。(本市は現在、議員定数18名、女性議員1人、議会事務局は、会計年度任用職員を含み9名)

庁舎別棟の区議会前で、チョ・ギュファ第9代議長はじめ、議員、職員の皆様に盛大に迎えていただき、区議会PR動画、議場や委員会室も拝見いたしました。泉佐野市議会のように、会派室はなくそれぞれの委員会室で過ごされ、選挙期間中の街宣車は、大型トラックで装飾された荷台で演説を行なわれるなど日本語を話される議員さんより伺うこともできました。様々な制度は異なりますが、皆様のお声を真摯に受け止め共に歩む、開かれた議会であることは変わりありませんでした。



区議会前記念撮影

歓迎式

委員会室

議場

1月22日(水)

寿城池 寿城池(スソンモツ)は、湖水公園で、観光名所でもあるそうです。5月～10月にかけて、メディアアート映像音楽噴水ショーや各種イベントが行なわれ、多言語対応のツアーバスが寿城池周辺を走っているのでバスに乗りながら観光を楽しむこともでき、寿城区の公式キャラクター「トゥビー」のグッズも購入できる観光案内所も設置されていました。観光案内所では、トゥビーを用いた作品募集での作品も飾られており、販売されていたトゥビーグッズは、本市のイヌナキン・ゆるナキンに比べ購入しやすい価格でした。著作権の問題であるかと思いますが、詳細は帰国後に提出する質問書の回答後になります。

また、寿城池は、水崎林太郎さんという日本人が作られ、韓国で大変有名であると同ったので調べてみました。岐阜県加納町長(現岐阜市)だった水崎林太郎さんが、1910年代に開拓農民として朝鮮へ渡り、花栽培等で成功後、旱魃と洪水によって荒れ未墾地が多かった現地のために土地改良組合長として貯水池を造ることを決め、朝鮮総督府の支援と私財を投じ、十年の歳月をかけて寿城池を築造したとあり、大変誇りに思いました。

そして、公園奥には、中古の飛行機(ロッキード L-1011 トライスター)を改造して作られ

た民間施設もありました。カフェとしてオープンされ、現在はウェディング等のパーティ会場として使用されているようです。本市は、日本遺産である『荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～』に追加認定されていますので、奈加美神社の船主より奉納された江戸期の北前船模型を元に、北前船カフェやホテルができれば観光名所になるのではないかと思います。



寿城池



観光案内所



トゥビーグッズと作品



飛行機施設

寿城女性倶楽部 韓国 226 自治体のうち 104 の自治体が女性親和都市指定（女性と男性が平等に参加し、女性の力量強化、世話、安全が実施されるように政策を運営する地域）を受けています。その 1 団体である寿城女性倶楽部（2013 年 9 月創設、2021 年寿城大学構内に移転）は、女性だけではなくこども、青少年、障害者、高齢者の社会参画を促進する団体で、大韓民国大統領賞をはじめ多くの賞を受賞されています。区民参加型活性化事業や雇用・創業支援、職業教育訓練を行なう 6 大事業の推進状況やワンストップ女性雇用支援システム（全国 159 カ所/大邱市 5 カ所）など皆様の活動を説明いただきました。また、女性に優しい経済環境づくり事業のトゥビー workshop・工芸創作室での 3 つの分野（ファブリック、刺繍、陶芸）を活用したトゥビーグッズ製作教育の様子も見ていただきました。

ロビーには、ウェルカムスペースとして、作品の展示や絵本も多く置いてあり、気軽に利用できる施設を実感でき、本市の地域包括支援センターにも取り入れたい学びでした。



事業説明



トゥビー workshop



ロビー



記念撮影

寿城アートピア 2007年5月に開館した大邱を代表するアートセンターである「寿城アートピア」は、オペラ、演劇、舞踊、音楽会など様々なジャンルの公演を鑑賞することができる他、芸術への理解をサポートするための教育プログラムが運営されています。

「無限の感動ステージ」をコンセプトにした公演分野は、企画公演数 1,309 回、観客数 644,452 人、会場平均稼働率は 64%で、「時間を込めて空間を埋める」がコンセプトの展示分野は、企画展示数 876、観客数 324,491 人、展示室の平均稼働率は 100%とのことでした。客席後方から舞台までの距離が 21 メートルもある超大型劇場など館内も見学させていただきました。白を基調とされた館内とをふんだんに使用した温かみのある劇場は、大変素晴らしかったです。また、屋外別棟には、こども達自身の芸術的価値を発見する、アートピアこども芸術センター「アーティナーブリックタウン」があり、さまざまな試みで遊びとコース中心の芸術活動を経験し、専門家、芸術家とのコラボレーションの中で、自己効能感、コミュニケーション、協力、問題 解決能力を育む創造的探求中心の教育プログラムを年中運営されています。視察日は、LEGOとのコラボレーションで、レゴブロックで個々に好きな物を作る子どもたちの楽しそうな姿が印象的でした。



大邱市立美術館 正式名称「大邱美術館」は、2011年5月26日に開館した大邱広域市の市立美術館です。(地下1階、地上3階、総建設費用 1,500 億ウォン) 館内の壁の一部が宮島達男さんの作品になって、視察させていただいた日は、エジプト・アレキサンドリア出身の作家ワエル・シャウキー(Wael Shawky、1971~)の「海外交流展」や韓国画家の現代アート展などが開催されていました。また、2013年の草間弥生展では、代表モチーフ「かぼちゃ」も展示され来館者 33 万人の大ヒットを記録したとのことでした。

そして、地下は、所蔵コレクションが見られる「見せる収蔵庫」になっていました。

宮島達男作品の壁



ワエル・シャウキー「海外交流展」



現代アート展



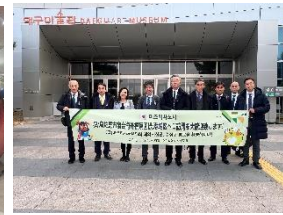
← 館内 ↓



地下収蔵庫展示



記念撮影



未来教育館 2024 年開館した未来教育館 S-NEXT (寿城次世代教育 X テック) は、最新のデジタル技術設備を備えた 3 階建ての大変素晴らしい教育空間でした。

1 階は、生成型 AI と実感メディア技術を活用した体験・展示スペース、2 階は、電子黒板とメディアウォールによるリアルタイムオン・オフライン教育が可能なスマート講義室、3 階は、4 面からなるメディアウォールとデジタル技術を活用した展示と公演が行われる多目的リアルメディアルームとなっていました。

当日は、1 階では、ドローンサッカー（韓国発祥の競技で、球状のプラスチックフレームに覆われた専用ドローンボールを使用し、5 対 5 で戦う最新戦略型チームスポーツ）の体験、2 階では、4 足歩行のロボットのバトルダンス披露があり、3 階では、世界市民教育(GCED)の 5 つの主要分野である平和・人権・文化多様性・グローバル化・持続可能な発展を理解する学びを得ました。

未来教育館へ



建物入り口



ドローンサッカー体験



メディアウォール映像



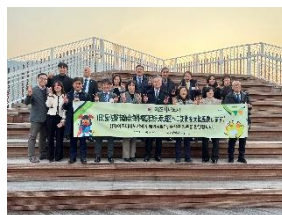
2 階ロボットダンス



世界市民教育



屋上にて記念撮影



1月23日（木）

トゥルラン芸術村 トゥルラン芸術村（ドリームプラススソン）は、住宅街の老朽化したワ

ンルームマンションをリノベーションし、音楽（リトミック）・ボードゲーム・ワークショップ・陶芸など多くのプログラムがあり、こどもから大人まで、様々な体験のできる文化芸術教育専用施設です。カフェやコミュニティスペース、図書スペースもありました。

私達は、抽出後のコーヒーの粉を乾燥させ、リサイクルできるように開発された植物性粉と水を加えて捏ね、ねかせ、形成し色をつける工程を学び、工程の中の1つ「絵付け体験」をさせていただきました。絵筆を持つのは久しぶりでしたが、見本を参考に、済州島のシンボルである「ハルバン（玄武岩で作られた石の守護神）」に、好きな色を重ねる時間は、大変楽しかったです。プログラムを通して様々な新しい経験と思い出ができる施設名のと通りの「夢の場所」でした。



トゥルラン芸術村



館内



工程説明



↑ 完成作品

絵付け体験

今年度より設置されました国際戦略調査研究委員会での初海外視察は、友好提携都市としての交流のみならず韓国の文化や大邱広域市寿城区の取り組みを学べ、大変有意義な海外視察でした。本市の約1.5倍の面積に約4倍の人口である人口密度の高い寿城区は、先進的で、こども達が、伝統・芸術・文化・芸術・デジタル技術を遊びながら楽しく学べる施設が多い「教育のまち」でした。自治体財政も異なりますので、施設のみならず施設案内パンフレット1つとっても大変豪華でしたので全てを取り入れることは不可能ですが、遊びを交えた楽しめる教育や自治体のプロモーション方法などの取り組みは、可能であると思います。本視察での学びと経験を魅力あふれるまちづくりに反映してまいります。

また、訪問先の案内などを事前に委員会にて入手し、質問事項をまとめることなど反省点も次の機会に活かしたいと思います。

寿城区長、区議会の皆様をはじめ、各施設の職員の皆様には、温かく盛大に歓迎いただきましたこと感謝を申し上げます。そして、様々な調整と準備、同行くださった担当課、議会事務局の皆様、ありがとうございました。

国際戦略調査研究委員会委員 高橋 圭子

国際戦略調査研究委員会委員 大庭 聖一

海外友好都市視察報告 別紙

大邱市寿城区 区長・区議会議長表敬訪問及び会談

【1月21日（火） 15：30～17：00】

最初に区役所にて、キム・テグオン区長を表敬訪問し出席者の紹介、キム区長の歓迎の言葉、新田団長（国際戦略調査研究委員会委員長）挨拶の後、懇談を行いました。短時間の交流でしたが、今進めている交流計画（泉佐野市から職員派遣・合唱団交互訪問交流）の話や、寿城区で進んでいる計画（テグ空港の移転計画・健康的なお茶文化を進めるためお茶を開発中）、進める予定の計画（お茶と瞑想が出来る会館・ソフトウェア関連の促進）などをお聞きし、参加議員の中にも茶道をしている方がいますので、その方面の交流も進めませんかと発展的な話が進みました。また、教育関係や文化面の質疑が多く出ていました。発展的な意見交換になったと思います。（他にも、アイスホッケーの交流などのスポーツ分野の交流も進めたい意見もいただきました。）
区役所前で記念撮影して終了しました。

次に、区議会棟に移動して、チョ・ギュファ議長をはじめ13名の議員が参加して歓迎式典を開催してくれました。
参加者の紹介、区議会の紹介ビデオ（全議員の紹介）、チョ議長の挨拶、新田団長の挨拶の後、歓談し友好都市調印時・昨年の泉佐野市訪問時の話や、互いの議長任期などの議会関係の話、訪問までの時間が約1時間30分であることや、関空で寿城区の若者が2名働いていること、市議会選挙・区議会選挙について、女性議員数などを話して親交を深めました。

その後、委員会室や議場見学した後に議場での記念撮影・区議会棟前での記念撮影で終了しました。

海外友好都市視察報告 別紙

大邱市寿城区 寿城大学校 寿城女性倶楽部

【1月22日（水） 11：00～12：00】

1. 韓国国内唯一の女性親和ハブ機関で、大韓民国大統領賞をはじめ多くの賞を受賞しています。
 - (ア) 寿城大学のキャンパスの教室を借りて運営しています。2013年に女性親和都市を目指して設立されました。
 - (イ) 女性親和都市は、女性と男性が平等で、また、高齢者や障害を持った方、青少年にも安心して暮らせる環境を備えた都市を目指しています。韓国226自治体中104の自治体が女性親和都市に指定されていて、一度の指定で5年間事業を推進しています。その中で唯一のハブ機関として指定を受けています。次の6つの項目で事業推進しています。
 - 1、 女性親和都市推進力量強化
 - 2、 女性の経済環境を作る事業
 - 3、 文化を拡散する事業
 - 4、 ネットワーク支援事業
 - 5、 女性の新しい事業創出事業
 - 6、 外部の支援事業（寿城区外の支援）
 - (ウ) 女性親和都市推進力量強化事業から、女性親和都市支援文化事業から市民約70名が参加する事業【幸せ寿城、クリーンタカード】を紹介してくれました。
 - (エ) 安心して路地などを歩ける環境を作るためLED街灯を設置し管内の警察とも連携して安全な環境を造ったり、絵本を使って地域住民を訪問して語り合う事業を推進しています。
 - (オ) 女性の経済環境を作る事業からは、区のキャラクター（トゥビー）を活用した事業展開していました。ぬいぐるみなどのグッズを製作したり、商品開発をしていました。
2. また、フリーマーケットなどの運営で女性事業者が参加しやすい環境を創出しています。
 - (ア) 文化を拡散する事業では、8年前から幸せ寿城まちづくりの事業を展開

していました。3人以上の地域住民の提案を受けて参加でき、15の事業を支援できています。性平等の朗読劇などを展開しています。

3. 女性倶楽部は、女性団体との交流を深めながらより多くの事業展開をしながら、出産などで就業から離れた方が復帰しやすい環境整備を進めて事業展開を考えています。

海外友好都市視察報告 別紙

大邱市寿城区 大邱市立美術館 寿城アートピア

【1月22日（水）13：45～14：45】

本市の泉の森ホールと似た施設でした。文化芸術に触れてもらう機会を増やす目的などからオペラや演劇、オーケストラや音楽イベントで活用できる施設として整備されています。2007年5月にオープンし、2010年8月から寿城文化財団を立ち上げ運営を委託しています。2022年から改修工事し2023年に完了しています。2023年7月ドイツのカールスルーエのバーデン州立劇場と協力締結を結ばれています。2024年1月に子供教育文化センター（アーティーナ）をアートピアに隣接する形でオープンしました。

価値ある文化芸術に触れる機会の提供を目標に、今までに1039回のイベントを行い約64万人が参加しています。展示については876回32万4千人ぐらいになっています。教育講座として630回1万4500人ぐらいになっていました。教育講座の満足度は、95%と高い評価を受けています。

ドイツのカールスルーエ市と友好都市提携をしていますので、音楽交流を行っています。今年も9月に交流公演を予定しています。本市も交えての交流が出来る事を期待しています。

今後、泉の森ホールでの合唱団の交流を予定していますので、前向きに進めていくことを希望しています。特に子供たちの交流を深めていただきたいと思います。

海外友好都市視察報告 別紙

大邱市寿城区 大邱市立美術館

【1月22日（水） 15：00～16：00】

大邱市立美術館は大邱広域市が支援する美術館です。近代美術の歴史的価値も研究しています。日本人のアーティストの作品も展示されています。

1階では、メイン会場でアフリカのアーティスト作品を紹介していました。伝統的な仮面を陶器で作成しているようでした。私が認識している、美術館とは雰囲気も、展示方法も違うように感じました。映像など活用しながら作品を紹介していました。

2階では、韓国の近代美術アーティストの作品を展示していました。

3階は、大邱ゆかりのアーティストを、歴史的資料と共に展示していました。

現代アートが多く展示していました。そのため、古くからの美術館とは違い、明るく開かれた空間が印象的でした。

本市でもし、美術館を作るなら参考になるポイントが多くあると感じました。

大邱市寿城区 未来教育館

【1月22日（水） 16：30～18：00】

2024年6月に開館した、人工知能、ロボット、プログラミング等の特化型教育プログラムの運営や体験が出来る施設でした。若者や地域の住民が自由に使えることをコンセプトに運営しています。

1階はメディアアートを中心に巨大スクリーンなども用いて作品の紹介をしています。新しい表現方法を用いながら紹介をしていました。音楽と融合しながら、部屋全体に映りだした映像が立体的に移動してスクリーンの中にいるような体験が出来ました。次に小型ロボットを用いてミニサッカーを子どもたちが体験するのを見学後、実際に体験させてもらいました。

2階では、小型の4足歩行のダンスロボットを使つてのプログラミングをしていました。複数のダンスロボットが集団で同じ動きが出来るように1台1台をプログラミングしていて、一斉にダンスするところを見させていただきました。

3階では世界的課題である環境問題などについて講演できる施設として整備されていました。SDGsなどの課題解決を議論できるように整備されていました。

日本では、あまり見たことがない施設でしたので本市でも整備できれば子ども達が興味を持って体験できる施設だと感じました。特にこれからの教育には深くかかわる可能性を感じました。韓国の教育に関する取り組みが世界的に評価される起因を感じました。

海外友好都市視察報告 別紙

大邱市寿城区 トウルラン芸術村

【1月23日（木）9：30～11：00】

韓国も、空き家問題が増えているようで特に近年ではマンションブームで1件屋の空き家や、集合住宅の空き家が増えているそうです。その活用方法として芸術を体験できる空間として整備された施設です。同じように2020年から2025年の間に7件のリノベーションした住宅や、集合住宅があり、若手芸術家の作品展示もできる集合住宅なども整備されています。また、芸術作品の販売専用の施設などもありました。

トウルラン芸術村は、空き家のワンルームマンションをリノベーションしました、1階はエントランスで吹き抜けの2階は憩いスペースになっていました。

3階は、ペットボトルの蓋を利用してキャラクターグッズを作成できるように成っていました。また、作品も展示されていました。

4階は、コーヒークラスを利用したマグネットを作成する体験できる施設です。実際に作製させてもらいました。時間の関係で、着色だけになりました。

スタッフも多く、障害がある方も就労できる環境だと伺いました。

寿城区が、韓国の中でも子育て世代が多く転入している環境になっているのが、今回視察させてもらった。多くに文化・芸術に触れ環境が整っていることや、学ぶ環境が充実していることではと感じました。本市でも参考にして子育て環境の整備を進めたいと思いました。